

平成二十九年年度における防衛力整備内容のうちの
主要な事項について

平成二十八年十二月二十二日
国家安全保障会議決定

平成二十九年年度における防衛力整備内容のうちの主要な事項については、次のとおりとする。

- 一 自衛隊法（昭和二十九年法律第百六十五号）の改正を要する部隊の組織、編成又は配置の変更
- （一）中央即応集団を廃止し、陸上総隊（仮称）を新編する。
- （二）南西航空混成団を廃止し、南西航空方面隊（仮称）を新編する。

二

自衛官の定数の変更

自衛官の定数を次のとおり変更する。

陸上自衛隊	七人減
海上自衛隊	一人減
航空自衛隊	二人増
共同の部隊	六人増

三

装備についての種類及び数量

別表のとおり調達し、又は建造に着手する。

なお、弾道ミサイル防衛用能力向上型迎撃ミサイル（S M―三ブロックⅡ A）については、共同生産・配備段階へ移行する。

四

開発項目

一二式地对艦誘導弾（改）の開発に着手する。

別表

区分		種類	数量
陸上自衛隊	海上自衛隊	航空自衛隊	共同の部隊
機動戦闘車 水陸両用車（AAV七） テイル・ローター機（V-22） 輸送ヘリコプター（CH-47JA） 一二式地对艦誘導弾 一三式中距離地对空誘導弾（改） 一三式短距離地对空誘導弾 中距離多目的誘導弾 一〇式戦車 九式自走一五五mmりゅう弾砲	潜水艦（三、〇〇〇トン型） 掃海艦（六九〇トン型） 音響測定艦（二、九〇〇トン型）	戦闘機（F-35A） 新空中給油・輸送機（KC-46A） 輸送機（C-12）	滞空型無人機（グローバルホーク）
一三三両	一四機	一六機	一機